

7 月例会「吉田精機株式会社 訪問例会 このままでは終わらない！ 倒れかけの会社を立て直すには ～吉田大介の決意表明～」

7 月 4 日 於 吉田精機株式会社

株式会社オージーファイン 小川 保弘

去る 7 月 8 日火曜日に、7 月例会として「吉田精機株式会社 訪問例会 このままでは終わらない！ 倒れかけの会社を立て直すには ～吉田大介の決意表明～」を開催しました。今期の会社訪問研修委員会は活動テーマを「決断の時は今！」～ピンチをチャンスに～ としており、企業の経営上の危機や課題に向き合い変革の行動を起こせる経営者になるために必要なことを学ぶ例会を企画しています。今期の最初の例会を実施するにあたって吉田委員長が自社の経営に危機を感じているという状況を踏まえ、吉田委員長自身にスポットを当てた会社訪問例会を開催しました。

中村顧問をはじめ幅広い年代の 30 名を越える会員様に参加をいただき、第一部では吉田さんからの会社概要の説明後、社内を回り製造現場を見学しました。普段の業務で行われている加工内容や作業場の様子の説明の中で、工場レイアウト上の課題を解決するため工場の改装をしたことや、部品加工の受注を強化するためにマシニングセンタを導入したこと、納期管理のために導入したクラウド方式の工程管理システムの解説などを聞き、参加者からは管理上の工夫など質問をしながら進められました。

第 2 部では、2 階事務所にスペースを設け「なぜ危機に陥ったのか」「これから経営者として何を目指していくのか」といったことについて吉田さんから参加者に向けて資料を映し出しながら説明をしました。吉田精機株式会社が創業以来、自動車生産設備向けの専用機・自動機の設計・製造を中心に経営をしてきたこと、また経営判断が後手になり徐々に主な事業の売上げが減少したこと、自動車の駆動方式がエンジンからモーターへ技術の転移が進んだことで実績のあった生産設備の需要が消失したことなどの経営事情を説明されましたが、続いてこれまで実施してきた対応策や今後の計画に話題が移ると参加された方からは「経営を引き継ぐことについて意欲を持っていたのか」、「経営者としてこれから何がしたいのか」、「助言を受けても行動に移せていないのでは」など、ご自身の経験を踏まえながらも厳しい意見が寄せられました。「機青連の『育とう・育てよう・育ちあおう』というスローガンは自ら成長したいという強い意思がないと成り立たない」という意見もあり、あらためて経営者としての意識の持ち方や会員同士の関係づくりについて考え直す機会となりました。第 2 部の最後に吉田さんから今後の決意表明をしていただく予定でしたが、今回の例会の感想と参加された会員の方への感謝の言葉を言うに留め、今後あらためて考えを整理するという事で閉会しました。例会としては未完結の感もあり、今後も今回の例会を受けての委員会活動を展開していきたいと思います。参加いただきました皆様へ感謝申し上げるとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

